

2019年度 (2019年4月~2020年3月) 講習会のご案内

お申込み方法 FAX、お電話にて予約制となります。

お問い合わせ FAX 03-3841-6549

TEL 03-3841-5760

講習会場 〒111-0034 東京都台東区雷門1-5-1
藍熊染料ビル6F 染料研修室

毛刈り羊毛からの染色 部分染めと浸染法 by 酸性染料

牧場で毛刈りした羊の毛から2種類の染色法を学びます。[クリクリ羊毛の部分染め・浸染の基本法]、下準備の「羊毛洗い」も併せて行います。毛刈り羊毛の醍醐味は、工業的にキレイに加工された羊毛とはひと味違い、羊種や一頭の中でも繊維の違いを手で感じることができます！用途別に毛質を振り分けていくと、制作の幅が広がります。素材の手触りと色を楽しんでみてください。受講された方を対象に、オプションとして、フリースフェルト(スマートルサイズ)1日講座を設けます。一頭分の毛刈り羊毛を振り分け後、解さない毛のフェルトを作り、毛刈り羊毛を使い切ります。

講師 若井 麗華 先生

プロフィール 1983年フェルトで出会い、強く惹かれる。羊毛の「縮んで固まる」という不思議な特性に魅せられて以来、フェルト造形の制作・研究を行っている。東京テキスタイル研究所(15年間)、玉川大学芸術学部(9年間)と講師を務める。現在は各地のワークショップ、教室にて「フェルトアートワーク」「染色による色彩学」を指導。作品は主に、展覧会や企業のショーウィンドウにて発表。

日程 1日目 2019年 6月17日(月)
2日目 6月18日(火)
(上記2日間続いた講習となります)

【オプション講座】
フリースフェルト：7月16日(火)※希望者のみ参加可能です

時間 午前10時～午後4時

講習費用 18,360円(材料費込、税込)／2日間

【オプション講座】
フリースフェルト：9,720円(材料費込、税込)／1日

定員 8名
対象者 初心者～上級者



草木染 基礎1年間クラス(4月～翌年3月)

草木染め…とは、誰でも簡単に楽しむことができる染色です。しかし、植物が本来持っている鮮明な美しい色を引き出すには成分や素材の特質を知る必要があります。実習では成分によって違う抽出法、素材別に違う媒染剤量や温度、その理由を学びます。このようにクラスでは基礎知識を実習と講義で理論的に学び、また個々の力を積むため作業全行程を1人で行えるようセッティングしております。1年間、毎月ノウハウを積み重ねていくことで効率よく染色法が身に付いていきます。鮮明な色が出せずにお悩みの方は、染め色の幅が広がります。初心者の方でも自分で染めるときに役立つオリジナルルール入テキストがありますので、分かりやすく学べると思います。

講師 上野 八重子 先生

プロフィール 1988年、ペルーで古代アンデス染織品に出会い鮮明な色と緻密な技法に触れ多彩な天然染料に魅せられる。その後、東京テキスタイル研究所にて高橋新子(吉岡常雄氏門下)に草木染めを師事。同時にアンデス技法を2011年まで豊雲記念館に通い、今も解説探求を続いている。

日程 毎月第2水曜日(※8月のみ第1水曜日)

2019年 4月 10日(水)：絹の染色法、フラボノール類とは
5月 8日(水)：毛の染色法、タンニン類とは
6月 12日(水)：綿の染色法、下地処理とは
7月 10日(水)：インド藍の建て方(綿、毛、絹)
8月 7日(水)：藍・生葉染め、綿麻を染めるには
9月 11日(水)：緑染め染色法、生葉から緑色を抽出
10月 9日(水)：コチニール・ラック、アントラキノン誘導体とは
11月 13日(水)：茜、鮮明な緋色の抽出法
12月 11日(水)：紫根、ナフトキノン誘導体とは
：ログウッド・スオウ、ジドロビラン誘導体とは

2020年 1月 8日(水)：エキス染料、柿渋、ガンビア・クチナシ
2月 12日(水)：紅花、カルコン誘導体とは(韓紅、紅絞色)
3月 11日(水)：ふたかけ染め(藍+重ね染め)

(上記全日程参加可能な方)

午前10時～午後4時

講習費用 22,680円(材料費込、税込)／3回分×4回

定員 8名

対象者 初心者～上級者

草木染 型染研究会

それぞれの興味と課題を伺い、その方ごとにテーマを設定したいと思います。糊づくりを学びたい方、図案の作り方を学びたい方、染料の性質と扱い方を学びたい方、色々あると思いますが、それぞれに対応できる研究会にしたいと思っています。マンツーマンではありますか、他の方の学びようも見られますので、ふくらみのある研究会にできると思います。

研究会では毎回、洋型紙(45×54cm)と白生地が配られます。初めての方には型紙も貸し出しますので、すぐに染色も行えます。

白生地は、コースター、ミニテーブルセンター、麻または木綿生地、楮和紙の内どれか1つを選んでいただきます。大きなものは扱えませんが、布等被染物の持ち込みは自由です。技法によってはTシャツなどのものも染色できますのでご相談ください。

講師 山崎 樹彦 先生

プロフィール 1958年、群馬県高崎市生まれ、北大理学部卒業後草木染めを始める。現在、草木染習習室主宰、旧軽井沢草木屋代表。風土に根差した草木染の形を模索しながら創作活動を行っている。

日程 2019年 5月 9日(木)、5月10日(金)、6月13日(木)、6月14日(金)

7月 11日(木)、7月12日(金)、8月 8日(木)、8月 9日(金)

9月 12日(木)、9月 13日(金)、10月 10日(木)、10月 11日(金)

11月 14日(木)、11月 15日(金)、12月 5日(木)、12月 6日(金)

2020年 1月 9日(木)、1月 10日(金)、2月 13日(木)、2月 14日(金)

3月 12日(木)、3月 13日(金)、4月 9日(木)、4月 10日(金)

(ご参加を希望される日程をお選びください。

ご自身のペースでご参加いただけます)

時間 午前10時～午後4時

講習費用 7,560円(材料費込、税込)／1日

定員 10名

対象者 初心者～上級者

江戸唐紙の中には洋紙を使った“更紗”といわれる手法があります。様々な顔料やゴム、雲母を使った“摺り込み”による制作ですが、それを草木染で表現する体験学習を行います。草木染でも使う墨や藍棒に加え、ラックなどの染料を使い最後に媒染液に浸すことにより、発色、定着させます。染めるものは埼玉県小川町の和紙(楮紙)に薄いコニヤク糊処理をしたものです。草木染ならではの色彩の透明感、美しさを体験してください。

☆草木染は昭和5年に合成染料との区別のため、山崎誠により命名された名称です。日本の伝統的染色技法を基にし、風土や季節、歴史を意識できる染色です。今回予定している図案集は以下の通りです。

草木屋 山崎樹彦の四季の植物図案：
椿、桜、露草、藤、紫陽花、野菊、カキツバタ、紅葉などを予定しています。

講師 山崎 樹彦 先生

日程 2019年 5月30日(木)、6月21日(金)、7月19日(金)、9月 5日(木)、10月 18日(金)、11月 7日(木)

2020年 1月30日(木)、2月21日(金)、3月21日(火)、4月30日(木)

時間 午後1時～午後3時 または

午後6時～午後8時

(上記いずれかより日程と時間帯をお選びください)

講習費用 3,780円(材料費込、税込)／1日

定員 12名

対象者 初心者～上級者



作品例

<p